

ふれあい together

— 私たちは、障害者と社会の架け橋です。NPO（特定非営利活動）法人トゥギャザー —

「ふれあいトゥギャザー」 バザール華ざかり

トゥギャザーは、施設で働く障害者の工賃を上げるために、共同生産方式でエコバッグやエコカレンダー・お菓子の頒布会などのモデル事業づくりに取り組んでいます。

一方で施設の自主製品を1人でも多くの方に買ってもらうために、啓発活動として「ふれあいトゥギャザー」のバザールを開催しています。

さる11月8日（土）千里万博公園で大阪府が提唱する「こころの再生」府民運動のイベントに協賛して「障害者の手づくり作品」の出店をしました。

あいにくの空模様の肌寒い日で、天候には恵まれませんでしたが、橋下大阪府知事も来場され、小磯良平画伯のエコカレンダーを手に取られて、「施設製品の販売支援は何より大切なことです。がんばってください」と大いに励まされました。



▲ 橋下知事に励まされました

障害者週間行事協賛

障害者の手づくり作品展示・販売会

～梅田スカイビルで開催～



▲ 販わうバザール会場

トゥギャザーとセルフショップぶなの森は12月4日（木）から4日間、クリスマスツリーとドイツクリスマスマーケットで賑わう梅田スカイビルで開催しました。厳しい経済環境の中ですが、昨年を上回る販売実績を達成できました。

4日にはシンポジウムに出席のため来阪された須田内閣府参事官（障害者施策担当）も来場され、障害者施設の“ものづくり”について質問いただきました。

Vol.21

発行日
2009.2.1

目次

「ふれあいトゥギャザー」バザール華ざかり

1

障害者と社会をつなぐシンポジウム
“障害者の就労と自立を支援する社会づくりのために”

平成21年度障害者週間行事

2

障害者の社会参加を支援する企業展示会

3

大阪コミュニティ財団「西日本SHDパートナーズ倶楽部」助成
福祉施設のお菓子のブランド化事業
進行中！！

4

トゥギャザーのホームページは
トピックスや商品紹介など内容満載です

<http://together.or.jp/>
ぜひアクセスしてみてください

トゥギャザー事務局のブログ
<http://ameblo.jp/npotogether/>

お菓子とパンのお店とっとのブログ
<http://ameblo.jp/togethershop/>

障害者と社会をつなぐシンポジウム

“障害者の就労と自立を支援する社会づくりのために”

平成21年度障害者週間行事

障害者の自立を支援するさまざまなグループが梅田スカイビルに集って開く「障害者の就労と自立を支援する社会づくりのために」今回も関西経済4団体・大阪ボランティア協会・トゥギャザーで組織する実行委員会で開催して多彩なイベントが繰り広げられました。

主催者挨拶 関西経営者協会 理事 中井正郎 氏
来賓挨拶 内閣府参事官
(障害者施策担当) 須田康幸 氏

基調講演 「企業が果たす社会貢献」
講演者 辰野 勇 氏
株式会社モンベル代表取締役会長

パネルディスカッション
〈コーディネーター〉

早瀬 昇 氏 社会福祉法人 大阪ボランティア協会常務理事・事務局長
〈パネリスト〉

戸枝 陽基 氏 社会福祉法人むそう理事長・NPO法人ふわり理事長

岡本 清孝 氏 大阪府雇用推進室雇用対策等総括主査

鍋谷 好子 氏 社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会ピアカウンセラー

大島 友子 氏 マイクロソフト株式会社

杉山 昭夫 氏 株式会社u&n(ニッセングループ特例子会社)取締役

マイクロソフト株式会社からは当初木原暁子氏が予定されていましたが当日体調が悪く大島友子氏に交代されました。

▼ 辰野勇氏の基調講演



基調講演は、日本のトップクライマーであり、株式会社モンベル会長の辰野勇氏から「企業が果たす社会貢献」というテーマでお話いただきました。

企業の社会貢献活動は、自分たちで意識して積極的に行っていくということが大切だと語っておられました。

意識をもつということでもちょっとしたことでそれぞれの企業にできることはたくさんあるという言葉が印象的でした。また、大切なことは企業の社会貢献はお客様があってはじめてできることだということ。

(株)モンベルでは今20万人いるモンベルクラブ会員の会費の中から一部をチャレンジアワード等の活動費として使わせていただき、その内容を独自の情報誌を使って伝えることでお客様にも社会貢献活動を意識していただいているそうです。

30年後にも、世の中から必要とされ、それに、応じられるモンベルでありたいし、支持してくださる100万人のモンベル会員がいるような世界一幸せと思える企業でありたいと大勢の参加者に熱っぽく語られました。



パネルディスカッションは、早瀬昇実行委員長がコーディネーターになり「障害者の就労と自立を支援する社会づくりのために」というテーマで5人のパネリストによって行われました。

障害者自立支援法が施行されて3年が経とうとしています。障害者が経済的に自立するためには究極、就労を

実現するということになりますが、そこに至るまでにはさまざまなハザードがあります。

各分野からのパネリストから、その可能性を見つけるための問題提起がなされ、解決の糸口を見つけるための熱心な討論がなされました。会が終わって参加者からは、大変有意義だったという評価でしたが、もっと時間をかけてお話を聞きたかったというのが共通の声でした。

障害者の社会参加を支援する企業展示会

▼ 見学する須田内閣府参事官

障害者週間期間中、空中庭園展望台ギャラリーで33団体が出展しました。

今年で4回目になり、トゥギャザーは当初より出展交渉の窓口として事務局を担当しています。



▲ 企業展示会風景

回を重ねるごとに、その趣旨も浸透してきて内容も濃くなってきました。

バリアフリー展は別にして、これだけの企業が一堂に会しての福祉系の展示会は他に事例が無く、各界から高く評価を受けています。

トゥギャザーは「障害者と社会の架け橋」として、企業とNPOとの協働で障害者の自立支援を目指しているだけに、CSRに重きをおく企業関係者や市民に多く見ていただき、理解していただきたいだけに大変有意義でした。



トゥギャザーは障害者の自立と社会参加を「3つの活動」でお手伝いします

啓発活動

“ふれあいトゥギャザー”の開催

販売支援

トゥギャザーがコーディネーターになって施設がネットワークを組んで共同生産します

住環境コーディネート

グループホーム・ケアホームの実現を支援します

発行

NPO(特定非営利活動)法人
トウギャザー

〒556-0011
大阪市浪速区難波中3丁目9番3号
学校法人エール学園 I 号館102号室

TEL 06-6646-3380
FAX 050-3099-0431
メール together@k4.dion.ne.jp
ホームページ http://together.or.jp/

大阪コミュニティ財団
「西日本SHDパートナーズ倶楽部」助成
福祉施設のお菓子の
ブランド化事業 進行中！！

福祉施設の菓子づくりのレベルアップとブランド化された菓子を新たに作り出すために進めているこの事業は、おいしいケーキをすることで評判のアナトル（大阪市此花区）のご協力のもと、パティシエをそれぞれの施設に派遣しての研修が進んでいます。

施設のお菓子づくりの現場に行き、衛生面のチェックをはじめ、まずは施設がお菓子づくりで悩んでいること困っていることの解消から始めました。

施設の多くで聞かされたのが「パウンドケーキが思うように一定に膨らまない」という悩みを持っていました。実際に施設の方が作った後に、パティシエが注意点を説明しながら作ってみました。

そして、再度、施設の方に作ってもらう、といった作業を行うことで施設の方々の技術も上達してきました。

多くの施設では、本を読んで作り方を覚えたり、知り合いに教えてもらったりといった所がほとんどでした。

お菓子の作り方（方法や順番）は理解しているのですが、「なぜこの作業が必要なのか？」「なぜこの順番でなければならないのか？」といったことが把握出来ていない傾向にありました。

パティシエがひとつひとつ丁寧に、理由とその素材の持つ役割を話してくれることで、施設の皆さんも理解できるかと思われまます。

手作りの温かさだけでなく理論に基づいた「お菓子づくり」。そんな極意を多くの製品づくりに活かしていただきたいと、奮闘中です。



▲ お菓子作り奮闘中

新規ご入会ありがとうございます

(2008年9月～12月 敬称略)

個人正会員 渡辺直子 上月秀夫
個人協力会員 中山正俊
法人協力会員 オムロン関西制御機器株式会社

会員動向
個人正会員 70名
法人正会員 24団体
個人協力会員 85名
法人協力会員 30団体

合計209名・団体

正会員 個人 10,000円 法人20,000円 (この法人の目的に賛同し、法人の活動を推進する個人および団体)
協力会員 個人 5,000円 法人10,000円 (この法人の目的に賛同し、法人の活動を協力する個人および団体)

トウギャザーは障害者と社会の架け橋として、さまざまな活動を行います。ご入会お待ちしております